

# イチオシ!

## M OVIE

### 『ホース・マネー』

『ヴェンダの部屋』『コロッサル・ユース』などで、リスボンのスラム街を描いてきたポルトガルの巨匠ペドロ・コスタ監督が、再び同地区を舞台とする傑作を生み出した。数十年前にアフリカからポルトガルにやってきた主人公は、首都リスボンのスラム街に暮らし、日銭を稼ぐためにレンガ工場などで働いてきた。年老いて、今、人生を終えようとしている彼は、かつて故郷で飼っていた1頭の馬のことを思い出す——。山形国際ドキュメンタリー映画祭2015でインターナショナル・コンペティション部門大賞を受賞したこの作品は、ポルトガルのカーネーション革命やアフリカ諸国の独立などの近代史を背景に、ポルトガルに暮らすアフリカ移民の苦難の歴史と記憶を描き出している。



2014年／ポルトガル／1時間44分

監督：ペドロ・コスタ

出演：ヴェントウーラ、ヴィタリナ・ヴァレラ、ティト・フルタド、アントニオ・サントス

公開：6月18日(土)よりユーロスペース(渋谷区)他 全国順次公開

URL：www.cinematrix.jp/HorseMoney/

配給：シネマトリックス

## E VENT

### 『日本・ブータン外交関係樹立30周年記念事業 「ブータン～しあわせに生きるためのヒント～」』

日本とブータンの外交関係樹立30周年となる今年。その記念事業として開催される本展覧会では、「ブータン王国国立博物館」「ブータン王立織物博物館」「ブータン王立テキスタイルアカデミー」の全面協力の下、各施設が所蔵する貴重な文化資料を日本で初めて公開する。今年2月に王子が誕生したばかりのブータン王室からは、現国王・王妃の衣装などが特別に出展される。この展覧会は、「ブータンの生活様式」「ブータン仏教と信仰」「愛されるブータン王室」の3章構成だ。約140点の展示品を通して、「しあわせの国ブータン」の暮らしに根付く伝統文化を見つめ、その教えに触れてみてはいかがだろうか。



会期：5月21日(土)～7月18日(月・祝) 10:00～17:00

※最終入場は閉館30分前まで(会期中無休)

会場：上野の森美術館(東京都台東区)

問：サンライズプロモーション東京(全日10:00～18:00)

TEL：0570-00-3337

## B OOK

### 『「世界遺産」謎解きガイド』

歴史ロマンを10倍楽しむ「読み筋」とは!

1972年に始まり、今では登録数が1,000件を超えた世界遺産。人気の観光スポットとして人々を魅了しているが、ただ景観を楽しんで帰るだけではもったいない。「マチュ・ピチュ」「ナスカの地上絵」「ストーンヘンジ」のように、多くの世界遺産には、歴史の間に埋もれ、解明されていない謎が残されている。本書では、そんな世界遺産の未解決ミステリーをカラー写真満載で多数ご紹介。ページを開き、歴史のロマンに触れてみてはいかがだろうか。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

日本博学倶楽部 著  
PHP研究所  
734円(税込)

## B OOK

### 『ヒマラヤに捧ぐ』

アルピニスト野口健さんの写真集第二弾となる本書。野口さんは昨年4月25日、ヒマラヤの標高4,500メートル地点でネパール大震災を経験。山を下って到着した村は壊滅的な被害を受けていた。本書には、復興活動に奔走した野口さんが目にした被災地の様子のほか、「生きること」を感じさせてくれるヒマラヤの大自然やネパールの人々の暮らしを写した作品が収められている。ヒマラヤに恩返しをしたい——。これまで50回以上ヒマラヤに通い続けている野口さんの思いが込められた1冊だ。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

野口健 著  
集英社インターナショナル  
2,700円(税込)